



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第5号
平成30年9月6日
校長 松丸 晴美

「インターネットを活用した安全・安心な学校」

酷暑ともいべき今年の暑さは、教育活動にも大きな影響を与えました。夏の運動部活動は、熱中症や雷などの突然の自然現象に留意しながら活動しています。とりわけ今年は、「命の危険にかかわる暑さ」の日が各地で続き、毎日のようにトップニュースで熱中症の注意が促され、病院への搬送などが大きな話題になりました。

本校では、国や東京都からの通知を参考に、毎日、環境省のホームページで、活動の目安となる「暑さ指数」を確認しながら、空調のない校庭や体育館での活動を制限してきました。

せっかく登校しても、冷房を入れた多目的室や視聴覚室での室内トレーニングやミーティングに活動内容が変更されることも多々あり、生徒たちも気の毒でしたが何よりも安全第一です。

夏休みの始めには、例年通り、1年生と岩井臨海学校に出かけました。残念ながら台風12号の影響で2日目は泳ぐことができませんでした。このことを予測し、持参した宿題等の学習と運動、ダンスなどのレクリエーションを上手に組み合わせ、時間を有効に使って過ごせました。目標としていた遠泳も、全員が完泳し、その夜は恒例のダンス大会で大いに盛り上がり、生徒、教員ともに楽しみました。

今夏の臨海学校では、色々考えさせられたことがありました。それは「ネット社会の急速な広がり」です。私が初めて練馬区の臨海学校に行った8年前は、学校連絡メールも整備されておらず、学校ホームページシステムもそれほど充実してはいませんでした。しかし今や、学校連絡メールは緊急の場合のみならず、日常的に保護者連絡の便利なツールになっています。

加えて、校務用のタブレットパソコンが配備され、前回のスキー移動教室から、現地でホームページに掲載する記事を作成できるようになりました。このことは、生徒達の様子をきめ細かく保護者にお知らせできる一方、教員の新しい業務にかかわる時間が増大し、生徒とかかわる時間が減るといふ本末転倒と思われる事態も引き起こしかねません。臨海学校では、台風接近という特別な事情があったため、現地でのホームページ作成にかかわる労力は相当のものがありませんでした。改めて、ネット社会の光と影について考えさせられました。

44日間の長期休業中、大きな事故やケガの連絡もなく、9月3日(月)の始業式に生徒達の笑顔に会えたのが何よりの喜びです。始業式は雨模様の天気で、涼しい中で生徒の元気な姿に接することができました。

しかしその翌日は、大型の台風21号接近による暴風雨の影響で、ステップアップ教室や部活動などの放課後の活動の変更・中止を余儀なくされ、保護者の皆様には学校連絡メールでお知らせしました。

今年の夏は、暑さや台風による暴風雨で教育活動ばかりではなく、学校施設・設備の破損被害も随分とありました。今後も限られた情報を活用し、生徒の安全、保護者の安心に向けて、自然災害などに対する危機管理や保護者へのお知らせの充実に向けて努めて参りたいと考えています。

さて、2学期は一年で最も長く、様々な活動に適した季節です。一人一人の生徒の夏休み中の努力が実り、さらに力を伸ばさせてくれることを願っています。保護者・地域の皆様には、変わらぬご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

1年生臨海学校

1学年 金子 敬

7月27日(金)～7月30日(月)の三泊四日で、千葉県岩井海岸にて臨海学校が実施されました。体育の授業や夏休みの特別練習では安全を確認するバディの取り方や隊列を組んで泳ぐ練習、波が来ても顔をあげて泳ぐ練習、立ち泳ぎの練習など、短い期間で集中して取り組みました。

○27日(実習1日目)

バスでの長距離移動にも耐え、開校式を経て初めて海に入りました。プールとは違い自然の海は「波あり・クラゲあり・足つかず」の環境に不安を感じる生徒、次第に馴れて海で泳ぐことに楽しさを見いだす生徒の姿が見られました。

○28日(実習2日目)

台風の影響で海への入水はできませんでした。代わりに夏休みの宿題を終わらせるべく、自主学習の時間が設けられました。泳ぎたい気持ちをおさえ、集中して取り組む姿は素晴らしく、感心しました。また翌晩のダンス発表会に向けた練習も佳境を迎え、時間さえあればダンス練習に取り組む姿が見られました。さらに翌日の遠泳に向けた隊形作りと海でのかけ声の練習を行いました。

○29日(実習3日目)

天気にも恵まれ、午前中は水泳班を中心に大人数で泳ぐ練習を行いました。そして午後には大遠泳・中遠泳・小遠泳を行いました。波に流されながらも、隣同士そろって泳ぐことを意識する姿が見られました。泳ぎ切った後の達成感ある表情は初日と比べても大きな成長を感じさせてくれました。夜には二日間で創り上げたダンスの発表会が行われました。どのクラスもよく考え、練習された完成度の高い作品ばかりでした。



○30日(実習4日目)

閉校式では、校長先生・宿舎の方・実行委員からそれぞれの振り返りがありました。時間を意識して行動すること・周りをよく見てメリハリをつけて生活すること・様々な人に支えられて生活していることに感謝することなど、多くを学び、課題を見付けることができました。



臨海学校実行委員が考えた「仲間と海を満喫しよう」のスローガンには、参加する生徒皆で協力し合い、時には互いを思いやりながら真剣に自然と向き合うことで海という自然の良さを味わい楽しもうという思いが込められていました。

台風の影響もあり、最初の前定から大きな変更がある中で、話しをよく聞き、実行委員を中心に皆で協力しながら臨機応変に行動することができたところが大変素晴らしかったです。また、多くの生徒が真剣に実習に取り組み、海で泳ぐことの怖さと楽しさを学んでくれたように思います。今回の臨海学校で学んだ「時間を意識すること」は緑学年の課題の一つとして今後も取り組んでいきます。参加できなかった生徒も含め、これからの緑学年の成長が一層楽しみになった行事でした。



JRC 委員会企画 夏休み COBY 保育補助ボランティア報告

生涯学習部 百田 果

8月9日(木)、17日(金)、24日(金)の3日間、“COBY プリスクールせきまち”で保育補助ボランティアを行いました。今年 は男女併せて延べ34人が参加しました。24日(金)は吹奏楽部 20人も参加し、ミニコンサートも行いました。生徒達は、園児達のパワーに押されながらも、お兄さん、お姉さんの一面を発揮し、面倒をしっかり見てくれました。生徒達の感想を一部紹介します。☆ボランティアに行く前は小さな子達の相手なら大丈夫だと思っ ていましたが、子どもたちがすごく元気で力強く、とても驚きました。疲れましたが、ぜひ来年も また参加したいと思いました。(1年生男子)



☆小さい子と目線を合わせてしゃべることや、子ども扱いではなくて、一人の人として接すること の大切さを学びました。とても良い経験ができて良かったです。(2年生女子)

☆目線を合わせて話をする大切さを学びました。また、そうじ、行事で使うものを作るなど、裏方の仕事も体験し、先生の大変さがわかりました。でも、先生達はとても楽しそうに仕事をして いて、子どもが好きだからこそがんばれる仕事だと思いました。(3年生女子)

アジア交流会 8/22

副校長 溝口 千里

ジュニアスポーツアジア交流大会に出場するジャカルタ(インドネシア)とシンガポールの選手団が本校を訪れ、日本文化体験や生徒との交流を図りました。この事業は東京都と東京都スポーツ文化事業団が東京オリンピック・パラリンピックに向けて10年にわたって実施している企画です。当日は115名の西中生が44名のゲストたちとすてきな半日を過ごしました。



歓迎会では吹奏楽部が都のコンクールで金賞を取った演奏で出迎えます。曲は昨年度の70周年記念式典で演奏したオリジナル曲「果てなき理想を掲げ」です。演奏に先立って披露された部員4人による箏の演奏も海外の子供たちには初めて目にする、また耳にする光景だったかもしれません。



体験では、2年生が授業で学んだ浴衣の着付けを手伝いました。自分で習ったことを人に教えるということは自分の知識の再確認にもなります。選手たちはお互いに写真を撮ったりして盛り上がりました。書道のコーナーでは、西中生が書く見本を見て「羽球」「卓球」の漢字と自分の名前をカタカナで書いてもらいました。隣の席で上手にコミュニケーションを取りながら進めている様子が頼もしく見えました。その後行った、こま回し、剣玉、お手玉の体験では思いのほか早くそして上手に操作することができていてびっくりしました。

また、バドミントン部と卓球部は強い海外の選手と対戦するという貴重な経験もしました。暑い中でしたが、部員たちにとってはドキドキ、ワクワクの体験だったことと思います。

昼食交流では、班を作りゲストを囲んで食べました。インドネシア選手はハラル食でしたので皆、興味津々で見たり、また香りを感じたりしていました。夏休みの終盤を飾るすばらしい行事になりました。

夏休み中の部活動等での活躍

卓球部

第 49 回全国中学校卓球大会（広島県立総合体育館 8/23～25）

女子シングルス 吉岡桜子 ベスト 16

第 46 回関東中学校卓球大会(相模原市立総合体育館 8/10)

女子シングルス 吉岡桜子 準優勝

川村碧子 出場

第 57 回東京都中学校総合体育大会兼第 71 回東京都中学校卓球選手権大会(7/31)

女子団体（岩崎、江川、川村、木村、鈴木、前田、宮腰、吉岡） 第 5 位

女子シングルス 吉岡桜子 準優勝

川村碧子 第 3 位



吹奏楽部

第 58 回東京都中学校吹奏楽コンクール(8/8)

B 組 金賞 開校 70 周年記念曲「果てなき理想を掲げ」を演奏しました。

陸上部

第 64 回全日本中学校通信陸上競技大会 東京都大会(7/21)

男子 1 年 1500m 第 6 位 記録 4 分 34 秒 75 中村悠人

バスケットボール部

第 64 回クールカップバスケットボール大会(8/12)

男子 準優勝

優秀選手賞 田口湧大 敢闘賞 渡邊壮太郎

女子 第 3 位

優秀選手賞 成岡紅音 敢闘賞 土田 涼

第 71 回練馬区民体育大会バスケットボール競技(9/1)

男子 優勝 女子 優勝



テニス

2018 ビッグ K オープンジュニア

16 歳以下女子シングルス 小林千陽 ベスト 4

第 5 回野火止サマージュニアトーナメント

16 歳以下女子 小林千陽 準優勝

東京都中学校体育連盟テニス部第 3 ブロック大会(8/23)

女子シングルス 川田鈴花 ベスト 8 で都選手権大会へ進出

バドミントン部

第 71 回練馬区民体育大会バドミントン競技(8/23)

2 部女子ダブルス 菊間美津希・福田琴弓 第 3 位